

# EDIUS® Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

## リリースノート

Software Version 7.53b10 (2016 年 7 月版)

## Windows 7 でご利用になる場合の重要なお知らせ

EDIUS 7 ではビデオ編集用ハードウェアのドライバーインストールに SHA-2 ハッシュアルゴリズムの証明書を使用しています。Windows 7 で SHA-2 ハッシュアルゴリズムを使用するためには、マイクロソフト社のダウンロードセンターよりセキュリティ更新プログラムをダウンロード、インストールしてください。セキュリティ更新プログラムのインストール後に EDIUS 7 のインストールを行ってください。

対象ビデオ編集ハードウェア

- HDSPARK
- STORM MOBILE
- 当社製ビデオ編集ハードウェアを搭載するターンキーワークステーション (HDWS/REXCEED シリーズ)

\*ご利用になる OS が Windows 8/8.1/10 の場合や、サードパーティー製ハードウェアを使用する場合は該当しません。

SHA-2 ハッシュアルゴリズムの証明書を利用可能にするには、2つのセキュリティ更新プログラムのインストールが必要です。これらの更新プログラムは以下の番号順にインストールしてください。

1. [Windows 7 for x64-Based Systems 用セキュリティ更新プログラム \(KB3035131\)](#)
2. [Windows 7 for x64-Based Systems 用セキュリティ更新プログラム \(KB3033929\)](#)

**NOTE:** 本バージョンよりセキュリティ更新プログラムがインストールされていない場合は、インストール中にセキュリティ更新プログラムのインストールを促すメッセージが表示されて、インストールが中断されます。メッセージが表示された場合は、セキュリティ更新プログラムをインストールしてから、再度 EDIUS のインストールを実行してください。

## 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

- ソースブラウザーで XDCAM 機器上のクリップをブラウズする際、接続した機器が持つソート順でクリップを表示する機能を追加。
- H.264 MP4 ファイルエクスポート時に、インテル・クイックシンク・ビデオハードウェアエンコーダーが動作しない。(SFDC00519603)
- 4K もしくは QFHD プロジェクト編集時、ベクトルスコープに表示される X,Y 値が異常な値になる。(SFDC00521667)
- クイックタイターでタイトル編集時にテキスト文字の大きさが変わってしまう。(SFDC00523696)
- EDIUS をインアクティブ、アクティブにした後にテープ書き出しを行うと、書き出しが失敗する。(SFDC00523900) (HDWS シリーズのみ)
- クリッププロパティでフレームレートを変更してタイムラインに置いた場合、そのクリップがオフラインになると復元できない。(SFDC00528319)
- ビデオトランジションを適用した部分の透過が正常に表示されない。(SFDC00518638)
- プロジェクトを開く際に EDIUS がフリーズする。(SFDC00526655)
- STRATUS プレースホルダーから新規プロジェクトを開始しようとすると、EDIUS が起動しない。(SFDC00510919) (EDIUS - STRATUS 連携の Elite のみ)
- タイトル挿入モード時、クリップの選択フォーカスが外れる。

- アニメーション付きテロップを Bin とソースブラウザー(Title Folder)に登録すると、それぞれ異なるサムネイルが表示される。
- EDIUS のインストール/アップデートに QuickTime for Windows のインストールを確認しないように変更。

**NOTE:** 本バージョンは、Apple 社の QuickTime for Windows のサポート終了に基づいて、QuickTime for Windows がインストールされていない環境で EDIUS のインストール/アップデートが行えるように変更しています。QuickTime for Windows をアンインストールした場合は、扱える画像フォーマットに制限が生じます。詳しくは [EDIUSWORLD.COM](http://EDIUSWORLD.COM) をご覧ください。

## 既知の不具合

### スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

現象                   スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。  
回避方法           なし。

### プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

現象                   Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。  
回避方法           なし。

### 書き出した XAVC S ファイルの再生が途中で停止する

現象                   タイムラインを XAVC S ファイルとして出力したものをカメラ等で再生すると、再生が途中で停止することがある。  
回避方法           XAVC S エクスポーターの画質設定で標準、もしくは高速を選択する。

## 制限事項

### 最近使ったプロジェクトのリストが初期化される

現象                   EDIUS 7.32 以前から EDIUS 7.40 以降へアップデートすると、最近使ったプロジェクトのリストが初期化される。  
\*リストが初期化されるのは、アップデート後の初回起動時のみです。7.40 から 7.41 へアップデートした場合、この制限事項は適用されません。  
回避方法           なし。